

令和 4 年度（2022 年度） 斜里町・羅臼町のヒグマ目撃・対応状況

1. 令和 4 年度（2022 年度）（クマ年度）のヒグマ目撃件数など

令和 4 年（2022 年）3 月 1 日～令和 5 年（2023 年）2 月 28 日分

	斜里町	羅臼町	合計
目撃件数	1389 (991) 件	195 (217) 件	1584 (1208) 件
対応件数	745 (703) 件	336 (501) 件	1081 (1204) 件
有害捕獲頭数	15 (17) 頭	18 (14) 頭	36 (31) 頭

※ ()内は前年度通期（令和 3 年(2021 年)3 月 1 日～令和 4 年(2022 年)2 月 28 日）の数字.

※ 上記の「対応件数」には、住宅地・番屋密集地防衛用の電気柵の維持管理作業（斜里 113 件、羅臼 125 件(日)・328 時間）を含む。

2. 令和 4 年度（2022 年度）のトピック

<斜里町>

- ① 地域企業と協同でウトロ市街地周縁部のササ刈り・草刈りを実施（3 年目）
- ② 国立公園内でのヒグマへの接近・つきまといは公園法改正後も例年通り発生（9/30-10/2 のバスデイズ期間以外）
- ③ 日の出地区の屋外で干し魚の食害被害発生（10 月、同一箇所です 2 回）。近隣でビニールハウス内侵入も発生。国道沿いのため銃器による捕獲は実施せず
- ④ 知床五湖地上遊歩道で、秋に目撃と緊急閉鎖が多発
- ⑤ 知床横断道路（斜里町側）および道道知床公園線で 9～10 月に、ヒグマによる車両への接近・接触が多発。冬期通行止め後の国道で特定個体の捕獲作戦を実施（11/8～17）したが、捕獲には至らなかった。次年度以降にも同様案件が発生する可能性があるため、今後の対応について協議を行う予定。捕獲実施のための手続きは、エゾシカの流し猟式シャープシューティングの際と同様



写真1. 車両のサイドミラーに手をかける若いヒグマ（2022年10月8日；一般提供）.



図1. ウトロ市街地を防衛する電気柵の配置図
 (地理院タイル使用). 海岸・国道沿い、ペレケ川
 上流の川の中が弱点（ヒグマの侵入経路）.

<羅臼町>

- ① 各町内会と共同で地元建設会社の協力も得て、主要な場所の草刈りを実施(3年目)
- ② 連続飼い犬加害グマの箱わな捕獲に成功(7/11 海岸町)。DNA解析で確定
- ③ 岬町で5/18に捕獲されたオス成獣が、昨年同地区の民家からゴミ袋を持ち去ったヒグマと同一個体であることが、北大によるDNA解析で判明
- ④ 相泊に複数の通行車両にすり寄るヒグマが出現し、緊急捕獲(5/31)
- ⑤ 羅臼温泉野営場の取り付け道路や駐車場国道側辺縁でヒグマが目撃される(7/5 湯ノ沢町)。野営場の電気柵の設置ルートを道根室振興局が再検討
- ⑥ 知床横断道路(羅臼町側)の知床峠～羅臼湖入口間で車両に接近・手をかけるヒグマの目撃が多発(8/18～9月)。有害捕獲を試みたが逃走される
- ⑦ 羅臼中心市街地防衛用の電気柵3区間(船見町・栄町・緑町)の電源を、ソーラーからAC100ボルトに変更して安定化。12月上旬まで設置



写真2. 箱わなで捕獲された連続飼い犬加害グマ(7/11 海岸町)

【知床のヒグマに関する普及啓発・情報発信サイト】



知床のひぐま
(HP)



BearSafetyShiretoko
(Facebook)



Bear Safety Shiretoko
(Twitter)



bear_safety
shiretoko
(Instagram)